

参加費
無料

第3回 国立熊本高専 地域イノベーションセンターシンポジウム

「放射線リスクと向き合う 研究者の取り組み」

～国産レスキューロボット開発から耐放射線IC開発、原子力教育まで～

東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所（以下、福島第一原発）の事故以来、日常的に「放射線」という言葉を耳にするようになり、私たちの利便性を追求した生活スタイル・自然環境との共存・エネルギーなどについて改めて考え直すきっかけとなりました。そこで、熊本高専地域イノベーションセンターでは、高専および大学における教育・研究の視点から「放射線リスク」について考える機会を提供させていただくことにいたしました。

基調講演として、現在、福島第一原発原子炉建屋内の内部調査を行っている緊急災害対応ロボット「Quince」の生みの親である、千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター副所長 小柳栄次教授に、「災害対応ロボット Quince の開発と課題」と題し、国産ロボット開発の経緯から現在の取り組みと課題についてご紹介いただきます。また、本校からは、原子力工学が専門で原子力人材育成事業に取り組んでいる機械知能システム工学科教授 小田明範より「放射線・放射能の影響と原子力発電所」について、および、耐放射線半導体デバイスの研究を（独）日本原子力研究開発機構（JAEA）と共同で行っている情報通信エレクトロニクス工学科准教授 高倉健一郎から「耐放射線半導体デバイスの開発」についてご紹介いたします。放射線関連の話題のみならず、最先端技術に関するお話しなども伺える機会ですので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時 平成 23 年 12 月 7 日(水) 14:00～17:15

会場 KKR ホテル熊本 (〒860-0001 熊本市千葉城町 3-31)

定員 100 名

プログラム

14:00 開 会 宮川 英明 熊本高等専門学校長

福島原発で活動中の Quince

14:05 【講演 1】 「放射線・放射能の影響と原子力発電所」
小田 明範 熊本高等専門学校 機械知能システム工学科 教授

14:50 【講演 2】 「耐放射線半導体デバイスの開発」
高倉 健一郎 熊本高等専門学校 情報通信エレクトロニクス工学科 准教授

15:40 【基調講演】 「災害対応ロボット Quince の開発と課題」
小柳 栄次 氏 千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 副所長

17:15 閉 会

17:30 講演者を囲んでの交流会 <会費 3,000 円>

■主催 熊本高専地域イノベーションセンター

■後援 九州経済産業局、熊本県、合志市、八代市、熊本市、熊本県産業技術センター、(社)九州経済連合会、(財)くまもとテクノ産業財団、くまもと技術革新・融合研究会 (RIST)、(社)熊本県工業連合会、コラボ産学官熊本支部 熊本高専地域振興会

■協力 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター

第3回 国立熊本高専 地域イノベーションセンターシンポジウム参加申込

■参加申込締切 **11月30日(水)**

■参加申込方法 FAX または E-mail にてお申し込み下さい。

熊本高専 総務課産学連携係 行

FAX:096-242-5503 E-mail: koukai@kumamoto-nct.ac.jp

お名前 (ふりがな)	
所属 (企業名、大学名等)	
連絡先 (電話番号)	
メールアドレス	
交流会 (○でお困みください)	参加 ・ 不参加
交流会場: KKR ホテル熊本 / 時間: 17時30分~19時 / 会費: 3,000円	

*参加申込に伴う個人情報は、本シンポジウムの確認・連絡のみに使用します。

■講演者プロフィール

小柳栄次 (こやなぎ えいじ) 千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 副所長

20余年に及ぶ神奈川県立工業高校機械科教諭を経て、2002年3月、筑波大学大学院工学研究科知能機能工学専攻博士課程修了、博士(工学)取得。同年4月より桐蔭横浜大学工学部知能機械工学科助教授、2005年4月、同校教授を経て、2006年4月より千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター副所長となり現在に至ります。

現在では主に不整地移動ロボットの設計、走行および姿勢制御の研究に従事しており、制御性に優れ、信頼性・安全性の高いメカニズムの設計・製作を行ってきました。またレスキューロボットの実用化にも貢献し、災害対応ロボット Quince の開発にも関わっています。

小田明範 (おだ あきのり) 熊本高等専門学校 機械知能システム工学科 教授

広島県出身 1981年4月に九州大学工学部応用原子核工学科入学、同大学院工学研究科応用原子核工学専攻修士課程、博士課程を経て、九州大学工学部応用原子核工学科助手(1990年~1998年)。1999年4月、八代工業高等専門学校(現 熊本高等専門学校)講師、2000年助教授を経て2008年より教授。2009年10月熊本高等専門学校教授となり現在に至ります。

日本原子力学会、プラズマ核融合学会会員。第一種放射線取扱主任者免状所持。博士(工学)。2008~2011年度、熊本高専(八代高専)が採択された文部科学省及び経済産業省の原子力人材育成事業(原子力研究促進プログラム)の責任者を担当し、現在も様々な活動を継続中。

高倉健一郎 (たかくら けんいちろう) 熊本高等専門学校 情報通信エレクトロニクス工学科 准教授

1995年に熊本電波工業高等専門学校(現 熊本高等専門学校)卒業後、筑波大学に編入学、2002年に筑波大学大学院工学研究科にて学位を取得しました。2002年4月より熊本電波工業高等専門学校助手、2006年助教授、2007年准教授を経て、2009年10月熊本高等専門学校准教授となり現在に至ります。

宇宙環境や原子炉内に於いても正常に動作する半導体デバイスや材料の開発に必要な基礎的資料を得るために、高エネルギーを持った電子・陽子・中性子線等の放射線による各種半導体デバイスの損傷機構を、デバイスの電気的・光学的特性の劣化と基板結晶に導入された格子欠陥との関連性について、線源、照射量及び照射温度の観点から研究しています。

問い合わせ・申し込み先

熊本高等専門学校 総務課産学連携係

〒861-1102 熊本県合志市須屋 2659-2

TEL(096)-242-6433 FAX(096)-242-5503

E-mail: koukai@kumamoto-nct.ac.jp

URL <http://www.kumamoto-nct.ac.jp>